

子どもの相談・支援体制の充実

■「こねね」開設
10月1日、総合福祉交流センター・スマイル内に、児童相談所の補完的な役割を担う県の児童家庭支援センター「こねね」がオープンしました。あわせて、市は仁賀保庁舎にあった子育て支援課をスマイル内に移転し、子育て環境のさらなる充実を目指して「子ども家庭総合支援拠点」を開設しました。

また、市は3年前から金浦保健センター内に子育て世代包括支援センター（ネウボラ）「あのね」を設置するなど、子育てに関する相談並びに支援体制の整備を進めてきました。

■3つのセンターの違い
はじめに「児童家庭支援センター」「こねね」と「このね」についてです。設置主体は秋田県になります。児童福祉法に定められたこの施設は、不登校や発達遅滞から児童虐待にいたるまで、子育てに関わるあらゆる事柄の相談窓口になります。運営は社会福祉法人みそのが行い、由利本荘・にかほ地域での児童相談所のサテライト機能を果たしていくこととなります。

二つ目に「子ども家庭総合支援拠点」についてです。これは子育て支援課にあった家庭児童相談室を機能強化させたものです。対象は0歳から18歳までのすべての子どもとその家庭および妊産婦等です。特徴は在宅を軸にした支援を行うほか、要支援・

要保護児童等への継続的な家庭支援を主な支援内容の一つとしているところがあります。

三つ目に「子育て世代包括支援センター」「あのね」についてです。「あのね」は、おもに妊産婦および乳幼児とその保護者を対象に、妊娠期から子育て期にわたって総合的な相談や支援を行います。実際、初めての出産となる妊産婦等の不安を取り除くためにきめ細やかな支援を行いながら大きな安心感を提供することができています。

■切れ目のない支援
3つのセンターの役割を簡単に書きましたが、ポイントはこれら3つのセンターが連携することで、子どもとその家庭に対して「切れ目のない支援」を提供できるようになることです。

特に「あのね」と「子ども家庭総合支援拠点」の連携は重要です。たとえば、「あのね」はふだんから広く妊産婦のお手伝いをしていくわけですが、その中で出産や育児への支援だけではなく、家庭全般への支援が必要な人に行き会うことがしばしばあります。そのときに子どもとその家庭全般への支援に主体的にかかわっていくのが「子ども家庭総合支援拠点」になります。

その他にも今回の体制づくりに並行して、スマイル内に不登校対応教室が新たに開設されます。あわせて、昨年の10月には障がい児の発達支援・放課後等デイ

サービス事業所「ぼれっと」も開設されています。このように市は子どもたちへの幅広い相談および支援の仕組みを一つずつ整えていっています。

■子どもの権利を保障する
にかほ市が先じて手厚い子育て施策を展開させているのは、一方で子どもたちにもやさしいまちはすべての人にやさしいまちになっていくと信じているからです。他方で行政的視点から出生率の向上と人口減少の抑止という大きな目標を実現させるのと同時に、子育て支援は未来への投資であり、地域社会全体の経済成長を促すことができると考えているからです。

以前から、私は子育て支援の取組みをパズルのピースにたとえています。充実した子育て環境をつくり出すためには、市民の皆さんに市の子育て支援の取り組みを理解していただく必要があります。そのうえで、今回の「こねね」と「子ども家庭総合支援拠点」のような子どもへの権利を脅かしかねない困難ケースに対処できる仕組みづくりが、すべての子どもたちが等しく安心して暮らしていく社会をつくりあげていくうえで大切なことであると私は考えています。



にかほ市長
市川雄次



コマツ建設株式会社

互いに刺激し、学びあい、
にかほのこれからを造りましょう！

私たちコマツ建設は、道路の舗装や下水道橋の設備、公園の整備など生活になくてはならない土木工事のほか、官公庁や民間の施設、工場などの建物の新築、改修工事を行っています。冬期間は工事以外にも道路の除排雪なども行っています。

現場はにかほ市を中心に、県内他市での工事もあります。就業から3年目でもさまざまな研修・資格を取得し、多くの業務をできるようにになります。自分たちで手がけた工事が完成した時は達成感があります。冬の除雪業務は昨シーズン雪が多かったこともあり大変でしたが、地元の方々に感謝や励ましの言葉をいただくこともありやりがいを感じました。

工事の現場や除雪では役割によって資格が必要ですが、仕事に必要な資格取得の費用は会社が負担してくれますし、時間の捻出にも協力的なので、未経験者や女性でも安心して無理なく経験を積んでいきます。先輩は優しく、時に厳しく、安全管理の面でも指導はしっかりしてくれます。従業員の年代はさまざまですが、若手からベテランまで仲が良く、温かい雰囲気職場です。コロナ禍の前は花見やBBQ、ソフトボール大会、社員旅行など交流を深めるイベントも多くあり、社員旅行では県外で以前工事を行った現場などを訪れることもありました。休みは基本週休二日制で、有給休暇も調整してくれるので取得しやすい職場環境です。

建設業は大変なイメージがあるかと思いますが、専門分野を学んでいなくても本人次第で技術も知識も身に付けられます。ぜひ、私たちと一緒ににかほ市のライフラインを支えましょう。

企業情報

私たちは地元を中心に、道路や下水道、橋、公園等のインフラ整備に携わる土木工事と工場などの建物の新築や改修等の建築事業を行っています。チームとしてみんなで協力し合い各々免許や資格等を取得しながら自身のスキルアップに努めています。自分自身が携わった仕事の成果を普段の生活の中で目にすることができる非常にやりがいのある仕事です。今後とも地域の発展に貢献できればと考えています。

▶所在地 にかほ市金浦字鳥長根 130-2
▶事業内容 土木・建築・舗装・解体事業
▶従業員数 24人(うち男21人・女3人)
▶電話 0184-38-2250
▶FAX 0184-38-2261
▶Eメール mail@komatsukk.jp



「にかほbiz」に掲載する事業所を募集しています！

若者や女性の採用に積極的な事業所やイチ押しの魅力などを持っている事業所を紹介します。申し込みは商工政策課(☎43-7600)まで！



にかほ市移住・Uターン・お仕事支援ポータルサイト

